

令和 6 年度重点モデル区域の変更と設定について

1 検討事項

令和 6 年度の重点モデル区域の追加は瑞浪市を候補とし、海津市で重点モデル区域を拡大します。以下の重点モデル区域設定の考え方にに基づき、重点モデル区域として追加、区域の拡大をしたいと考えています。

なお、令和 6 年度重点モデル区域の候補市町の選定経緯は、下記 2 に記載しております。

【重点モデル区域設定の考え方】

✓ 以下①～③のいずれかを満たす区域であるか。

- ① 河川等及びその周辺での社会的利用が現に進んでおり、ごみの散乱を防止するための対策を積極的に推進する区域
- ② 河川等及びその周辺での社会的利用拡大が見込まれ、ごみの散乱を未然防止するための対策を積極的に推進する区域
- ③ その他、海洋ごみ対策のため特に対策が必要であると県が認める区域

✓ モデル性があるか。

自然と人が共生するエリアとして関係者が連携して重点的・モデル的な取組を行い、県内他地域への波及効果が見込まれる対策を講じることができるか。

✓ 目標設定は適当か。

海洋ごみ対策を通じて地域の環境保全が図られるとともに、地域資源として活用されることを期待した目標設定か。

2 令和 6 年度重点モデル区域について

(1) 募集経緯

令和 6 年度重点モデル区域の候補市町は次のとおり選出しました。

- 6 月 県内全市町村に対し募集の照会
- 7 月 瑞浪市が重点モデル区域に応募
- 11 月 既存重点モデル区域を設定した市町にヒアリング
海津市が区域拡大を希望、郡上市が取組みの方向性の追加を希望

(2) 県の考え

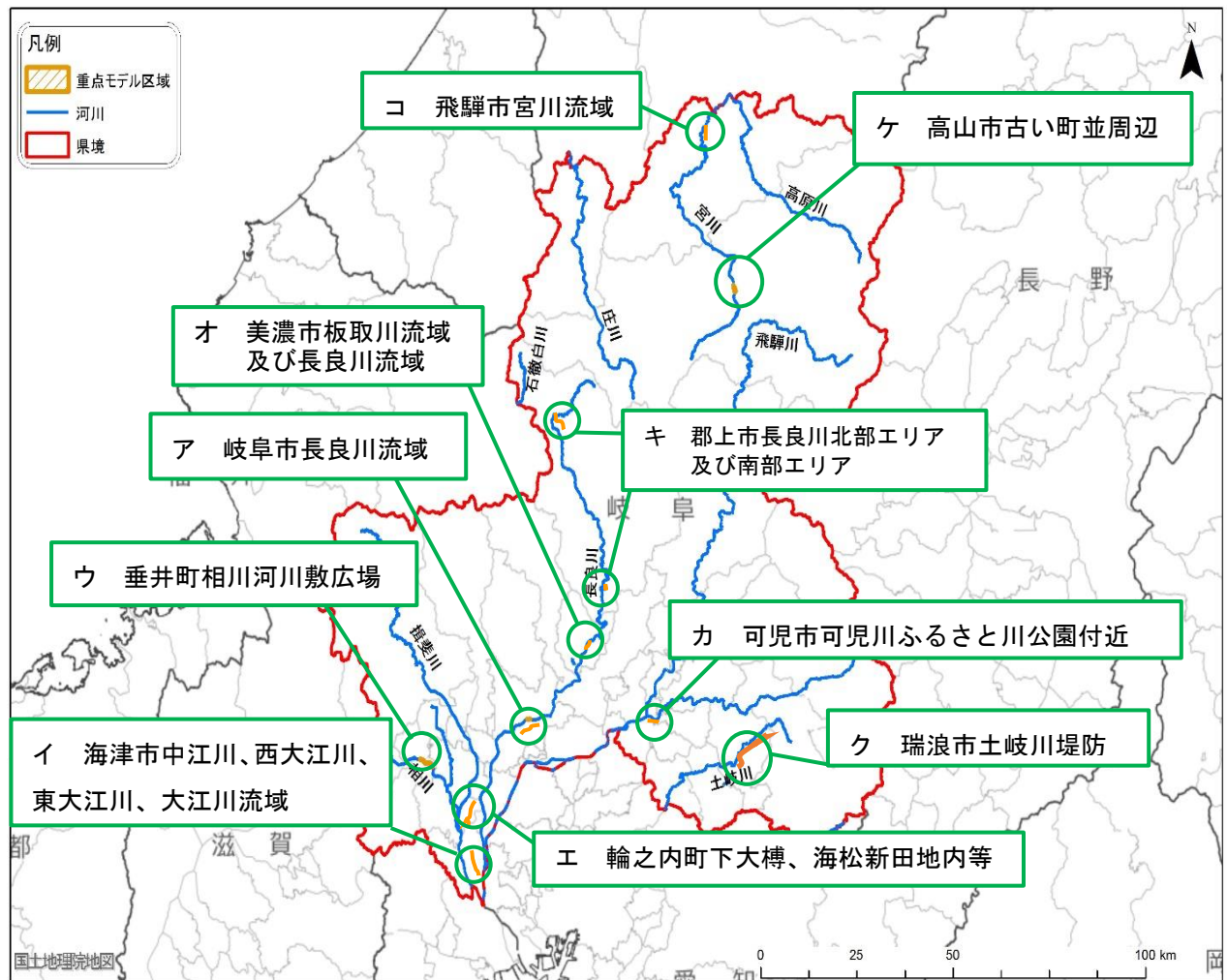
計画に基づき、全県的に取組みを推進するため、他地域への波及効果が見込めるうえ、流域圏と一体的な取組を展開できる上記候補地を重点モデル区域に設定したいと考えております。

3 重点モデル区域の一覧

	市町村名	区域名称	住所（代表地点）	延長（km） （範囲（km ² ））	設定の 考え方
岐阜圏域					
ア	岐阜市	長良川流域	岐阜市長良 千鳥橋付近 ～岐阜市忠節町 忠節橋付近	延長 7.8km	①及び②
西濃圏域					
イ	海津市	中江川流域	海津市海津町	延長 5.4km	①及び②
		<u>西大江川流域</u>	<u>海津市平田町土倉</u> ～ <u>海津市海津町内記</u>	<u>延長</u> <u>6.2km</u>	<u>①及び②</u>
		<u>東大江川流域</u>	<u>海津市大和田</u> ～ <u>海津市内記</u>	<u>延長</u> <u>5.4km</u>	<u>①及び②</u>
		<u>大江川流域</u>	<u>海津市海津町内記～</u> <u>海津市海津町福江</u>	<u>延長</u> <u>3.8km</u>	<u>①及び②</u>
ウ	垂井町	相川河川敷広場	垂井町表佐字塚之宮 4671 ほか	延長 3.2km	①及び②
エ	輪之内町	下大樽、海松新田地 内等	輪之内町下大樽、 海松新田地内	延長 8.2km	①及び②
中濃圏域					
オ	美濃市	板取川流域	美濃市長瀬 長瀬橋上流	延長 0.15km	①及び②
		長良川流域	美濃市前野 美濃橋下流	延長 0.54km	①及び②
カ	可児市	可児川ふるさと川公 園付近	可児市中恵土 子守大橋付近 ～可児市広見 蛸橋付近	延長 0.82km	①及び②
キ	郡上市	長良川 北部エリア	郡上市白鳥町 あゆパーク付近	範囲 4.3 km ²	①及び②
		長良川 南部エリア	郡上市美並町	延長 9.5km	①及び②
東濃圏域					
ク	瑞浪市	<u>土岐川堤防</u>	<u>瑞浪市寺河戸町他</u>	<u>延長</u> <u>8.0km</u>	<u>①及び②</u>
飛騨圏域					
ケ	高山市	古い町並周辺	高山市川原町 中橋付近 ～高山市大新町 連合橋付近	延長 1.3km	①及び②
コ	飛騨市	宮川流域	飛騨市宮川町打保～ 飛騨市宮川町小豆沢地内	延長 5km	①及び②

※下線部が区域変更及び事業追加

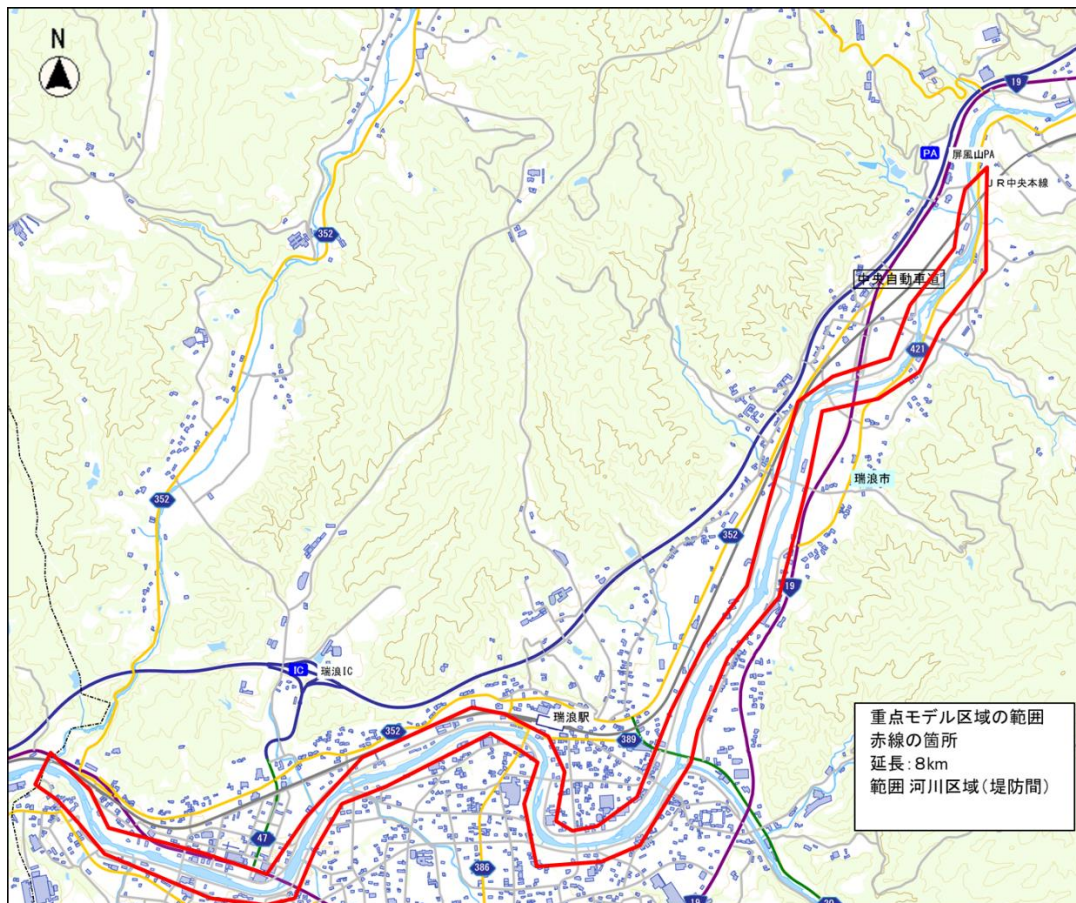
図 重点モデル区域全体位置図



①重点モデル区域の追加

ク 瑞浪市土岐川堤防

図 25 重点モデル区域 ク 瑞浪市土岐川堤防
(瑞浪市寺河戸町他 8.0km)



【重点モデル区域概要】

本区域内にある土岐川は、市内を東西に流れ、下流域では庄内川と呼ばれています。

土岐小学校付近の土岐川の水辺では水辺の楽校があり、ここでは、水生生物など子どもたちの環境学習の場として利用されています。土岐市との境界付近（明世地区）の土岐川沿いの水辺には、化石博物館の野外学習地があり、貝や植物など多くの化石が採れることから、地質や環境学習のために市内外から多くの方が訪れます。

【目標】

市中心部を流れる土岐川とその周辺地域のポイ捨てゴミを解消することで、それに伴い下流域にゴミが流れていくことが解消され、海洋ゴミの解消にもつながっていくことを目指します。

【取組の方向性】

ポイ捨て禁止看板の設置、ボランティアによる環境美化活動、環境美化監視員によるパトロール、市職員による不法投棄の回収など環境保全に努めます。

毎年、6月第1日曜日には、環境月間にあわせ、土岐川河川清掃を実施し、地元住民、事業者、学生など3,000名以上の方が参加します。

また、毎年2回（夏季、冬季）市内河川23地点において水質調査を実施しています。

このような活動を継続することが、海洋ゴミ発生抑制につながることを地元住民、河川利用者等へ啓発していきます。

②重点モデル区域の拡大

イ 海津市中江川流域

図 17 重点モデル区域 イ 海津市中江川、西大江川、東大江川、大江川
(海津市海津町 延長 20.8km)



【変更点】

- ・ 重点モデル区域を拡大

(変更前) 海津市中江川 (海津市海津町 延長 5.4km)



(変更後) 海津市中江川、西大江川、東大江川、大江川 (海津市海津町 延長 20.8km)

< ※参照 >

【重点モデル区域の概要】

本区域は、一級河川揖斐川に通ずる大江川・東大江川・中江川の下流域沿川であり、堤防の幅が広がっていることから、地域住民のウォーキングやサイクリングの他、釣り人達の憩いの場となっています。

風光明媚でのどかな田園地帯であり、四季折々の自然を楽しむことができることから、特に、春季は桜を目当てとする花見客が多数訪れる場所となっています。

【目標】

市民や観光客がルールやマナーを守って散乱ごみの抑制が実現され、地域住民の憩いの場を保全・維持します。

【取組の方向性】

本区域内では、ペットボトルや煙草の吸い殻、ビニール類、家庭用品など様々な種類のごみが捨てられることがあり、水路に流出するものもあります。

通年で実施する現地確認及び回収作業を基本としながら、一般市民による「環境パトロール員」や「環境パトロールボランティア」のほか、「海津市環境情報 110 番」フォームによる不法投棄等の通報を受けて現地対応及び処理を実施しています。

また、市内全域で、10月に市民による一斉美化運動を実施しており、10月には、建設部門を中心とした「伊勢湾森・川・海のクリーンアップ大作戦」への協力や、年1回、「アングラー河川清掃」を開催しています。

他方で、市の人口減少により清掃活動に参加できる市民の減少及び高齢化が顕著になっており、最近では、他地域からの不法投棄が発生しています。市職員の人員不足も相まって対応に支障が出ています。

継続した巡回やごみ拾いの他、散乱ごみ対策を講ずると共に、地域住民に対する啓発はもとより、特に観光客、釣り人などに対する海洋ごみ発生抑制に係る啓発を推進します。

③重点モデル区域の取組の方向性の追加

キー① 郡上市長良川北部エリア

図 2 3 重点モデル区域 キー① 郡上市長良川北部エリア
(郡上市白鳥町 あゆパーク付近 範囲 4.3 km²)

キー② 郡上市長良川南部エリア

図 2 4 重点モデル区域 キー② 郡上市長良川南部エリア
(郡上市美並町 延長 9.5km)

【変更点】

- ・【取組の方向性】を追加記載（追加、変更した文言を下線表示）

長良川は春先から秋にかけて多くの釣り客やレジャー客が訪れるため、レジ袋や食品の包装ごみをはじめとした多くの散乱ごみが発生しています。散乱ごみは、南部エリアの淵に溜まり、やがて海に流れています。排出者足りえる人々が自ら楽しみながらごみを拾うようなイベントを企画することで、単にごみを拾う、また単に啓発をするよりも効果的な排出抑制となることを狙います。

川辺に近づきやすい北部エリアについてはアユパークとの連携による「スポーツごみ拾い」を、川が深く淵などにごみが溜まりやすい南部エリアにおいては長良川ラフティング組合との連携による「清掃ラフティング」を通して地元住民や観光客が楽しみながらごみの除去を行うことができるようなイベントを企画・実行します。

また、南部エリアの『清掃ラフティング』の実施については、長良川ラフティング組合だけでなく現在 SDG s 指定校である郡南中学校の生徒に関わってもらい、SDGs の実践を通した環境教育の機会とすることも併せて計画します。